

北名古屋市地域公共交通会議議事録

次 長	<p>定刻となりましたので、ただいまから北名古屋市地域公共交通会議を開催させていただきます。</p> <p>本日、皆様には、大変お忙しい中、ご出席を賜りまして、誠に有難うございます。私は、防災交通課の大野と申します。</p> <p>議事に入るまでの間、進行を務めさせていただきますので、どうぞよろしくお願いいいたします。</p> <p>会議の開催にあたり、日置英治副市長 からご挨拶を申し上げます。</p>
副市長	副市長あいさつ
次 長	<p>ありがとうございました。</p> <p>日置副市長には、この後の公務のため、ここで退席をさせていただきますので、よろしくお願いいいたします。</p>
次長	<p>【副市長退席】</p> <p>それでは、議題に入ります前に、本日の会議でご使用いただく、資料等のご確認をお願いいたします。</p> <p>先ず、本日の会議の『次第』、…</p> <p>次に、『北名古屋市地域公共交通会議委員名簿』、…</p> <p>次に、『配席表』…</p> <p>次に、事前にお配りし、本日の会議にご持参をお願いしました資料の1から4、…</p> <p>次に、皆様からの意見・ご質問をまとめた資料の5、…でございます。</p> <p>以上の資料でお手元にないものがございましたら、お手を挙げて、お知らせ願います。</p>

次 長

よろしいでしょうか。

続きまして、新たに委員になられました方をご紹介します。
いただきます。北名古屋建設部 施設管理課の中村課長で
ございます。よろしくお願いいたします。

そして、各団体等内での異動により、前任者の残任期間の
引き継ぎとして、9名の方に委嘱させていただいております
のでご紹介いたします。

北名古屋市議会建設常任委員会からは、委員の上野様、愛
知県尾張建設事務所からは、松本様（欠席）、自治会長会から
は、熊之庄自治会長の渡邊様、能田自治会長の長瀬様、野崎
自治会長の近藤様、石橋自治会長の加藤様、北名古屋市商工
会からは会長の法月様（欠席）、公益社団法人 愛知県バス協
会からは専務理事の小林様（欠席）、愛知県交通運輸産業労働
組合協議会からは幹事の林様、以上の皆様でございます。よ
ろしくお願いいたします。

新たな委員の皆様には、本来ですと、市長から、お1人、
お1人に委嘱状をお渡しするところでございますが、事務の
都合上、失礼ながら、書類送付とさせていただきました。何
卒ご容赦いただきますよう、お願い申し上げます。

なお、尾張建設事務所の松本様、愛知県西枇杷島警察署の
堀野様、北名古屋市商工会の法月様、愛知県バス協会の小林
様、名古屋タクシー協会の多田様、以上、5名の皆様は、ご
欠席をされ、2名の皆様が代理出席でございますが、出席者
数は、過半数を超えておりますので、会議が成立すること
をご報告申し上げます。

それでは、議題に入りたいと存じます。

議事の進行は磯部会長、よろしくお願いいたします。

磯部会長	<p>皆様、こんにちは。会長の磯部でございます。</p> <p>円滑な議事の進行に皆様のご協力をお願いいたします。</p> <p>はじめに、議題（１）「北名古屋市 地域公共交通会議条例の改正について」、事務局から、説明をお願いします。</p>
事務局	<p>事務局の防災交通課、法月でございます。</p> <p>よろしくをお願いいたします。</p> <p>（内容説明 別紙１【議題１】のとおり）</p>
磯部会長	<p>ありがとうございました。ただ今の説明につきまして、ご質問等がありましたらご発言をお願いいたします。</p> <p>特にご意見等もないようですので、続いての議題に進みます。議題２、議題３については、関連していますので纏めて、議題（２）「北名古屋市内循環バスについて」、議題（３）「北名古屋市内循環バスの改定後の状況について」、併せて事務局から説明願います。</p>
事務局	<p>（内容説明 別紙１【議題２】、【議題３】のとおり）</p>
磯部会長	<p>ありがとうございました。ただ今の説明につきまして、平成１９年からの年間の実績、Ｈ２９年に改定しましたので、その比較の説明でございましたが、ご質問等がありましたらご発言をお願いいたします。</p>
長瀬委員	<p>初めてで、よく分からないのですが、最終的に、全体的にみて議論をしてくのか、もしくは個々の路線についての議論</p>

	<p>をしていくのかどのようにすればよいのでしょうか。</p>
事務局	<p>議題毎に区切って、皆さまのご意見をお伺いするようにいたします。また、最後に、もう一度意見等をお伺いしようと思っております。</p>
長瀬委員	<p>この路線というのは基本的に替えないという前提で、話を進めていくのか。抜本的に路線の考え方を変えるということはあるのか。</p>
事務局	<p>現在のところは、そこまでもまだ考えていません。この公共交通会議に諮って、皆さまの意見、アンケートの回答を考慮して決めていくということでございます。</p>
長瀬委員	<p>基本的にこれは循環バスですので、目的地から目的地まで1時間くらい掛からないと最後までいかないということですよ、昼便ですと。一番利用が多いところを中心に考えていくという考え方があると思う。</p>
磯部会長	<p>今、仰るのは、路線の組み方の大前提は何だ？という話ですね。車（バス）の台数が限られてるとか、誰に対してサービスするか、地域的な話もある。その中で、行政としてどうしていくか。民間会社としては、幅広く運びたいと思っているが、最終的に経営的に出来るかどうかということになる。採算が合わなければできない。じゃあ、行政としては、どういう考え方でやっていくか。その辺がはっきり分かるものがあれば良いということですよ。導入目的がありますけど、利用者が多い少ないということがありますが、元々、導入</p>

<p>松浦委員</p>	<p>目的に対して、適切かどうかという、委員の皆様が共有しなければならぬのでは？ということですね。</p> <p>当初から一緒に作らせていただけていますが、基本的な考え方として、放射線状に朝・夕便は走る、昼便は、公共施設を回ってもらうということで循環になっている。時間帯によって、変えるという北名古屋市の先生の特徴として、作られています。</p>
<p>長瀬委員</p>	<p>ぐるぐる1時間くらいかかるのが長いかなと思って質問しました。</p>
<p>磯部会長</p>	<p>その辺の考え方の整理をしておいて、数字を見ていくということにしていく方が、理解しやすいと思いますね。</p>
<p>事務局</p>	<p>長瀬委員の言われることも分かりますので、今後、その意見も取り入れて、ただ、バス停としては、定着してきていますので、なかなか動かすことは難しい、その辺は考慮して路線を考え、また、前は六ツ師・道毛線と替えたこともありますので、今後の乗車人数、アンケートを見ながら決定していこうと思います。</p>
<p>磯部会長</p>	<p>ありがとうございます。他に何かございませんか。</p>
<p>運輸支局 二輪様</p>	<p>資料を見ますと、29年にダイヤ改正があったことにより、昼が15%程人数は落ちていまして、全体としては利用者数は増えていますが、昼間に乗れなくなった人は今どうされているのかということと、その方をどうしてか・・・と</p>

事務局	<p>いうことについて考えをお聞かせいただければと思います。</p> <p>昼便が回復していないと言うのは、単純に朝便を増やし、昼便を減らしたからでありまして、その方たちがどうしているかは分かりかねますけども、意見は電話等で多々いただいておりますので、後ほど、アンケートの調査結果でご報告申し上げますが、路線の話をしましたように、意見を踏まえて、あと、今後の高齢化に向けて、昼便を使われるのは、高齢者の方になりますので、高齢化に向けてシフトするのか、朝・夕便にシフトするのかは今後決めていきたいと思っております。</p>
運輸支局 二輪様	<p>トータル乗車人数が戻ってきているのに、現在も昼便の人数が戻っていないのは何か理由があるのでは。</p>
事務局	<p>先ほども申しあげましたとおり、昼便の本数が減少しておりますので、回復はしないと思っております。</p>
運輸支局 二輪様	<p>5便に合わせて乗車していた方が4便に振り替わっているとは思いますが、ダイヤに慣れてしまえば、ある程度、元に戻ってくる傾向があると思っております。交通の施策になるのか、福祉の施策になるのか分かりませんが、高齢者が更に増えることを考えると、また何か考える必要があると思っております。</p>
事務局	<p>改正前は、朝・夕便が70本あり、昼便が29本あったんですが、29年の改正で、昼間が24本になっています。朝・夕便が76本になっていますので、その部分で増減しています。現在、朝便の最終便を1本昼便に持っていった方がいい</p>

<p>加藤委員</p>	<p>のかとか、今回のアンケートで分かった部分がありますので、今後、また、検討していきます。</p> <p>バスのキャパが大きすぎるのではないか。利用状況みると、今年度、利用者が少なくなっているのなら、重要なのは分かるが、高い税金を使ってるので減らす（小型のバスにするなど）べきではないか。その辺の判断がどうかというのが一つと、朝便が、28年度より、30年度が減っているのであれば、便数を減らすとか・・・</p>
<p>事務局</p>	<p>1台をそのまま貸し切って運行していますので、1日フルで活用しようが、ちょっとだけ運行しようが、金額としてはそうかわらないので、出来るだけフルで活用できるように運行したいということでやっている。あと、キャパシティとしては、確かに乗車率としては芳しくないところがありますが、今後、検討していく問題だと思っています。</p>
<p>加藤委員</p>	<p>全部ワゴンに替えればいいんじゃないの。</p>
<p>事務局</p>	<p>天候によっても替わります。</p> <p>補足させていただきますと、(28年度と比べられている)30年度については、12月現在のものになりますので、残り3ヶ月分が反映されてません。もう一つ、36人乗りが適正かどうかという話ですが、29年に改正した理由の一つでありました、もえの丘線という路線がありまして、常に満車状態で乗車をお断りすることもありました。均衡化を図るために、路線の入れ替えをした。昼便と朝・夕便の車両を替えると言うのも経費が掛かりますので、大は小を兼ねるという</p>

	<p>形で昼便は運行しております。</p>
磯部会長	<p>今話を纏めますと、どういう目的で、路線を組んでいるか。今回、改正したという考え方の整理ですね、それに対して、上手くいっているのかどうか、上手くいっていないのであれば、どこが悪いのか、それを調べていって、全体的に直していかなければならないのか、または、部分的な見直しでよいのか。それでまた、協議をしたいと思っています。</p> <p>他に何かございますか。</p>
県振興部 児玉様	<p>事務局の説明にはありませんでしたが、資料を拝見させていただくと、バスロケーションシステムをダイヤ改正と同時に導入されている。スマホ利用されている方も多いですし、システムの使い方も含め、もっとPRをしていったらどうか。</p>
事務局	<p>各バス停に、バスロケのQRコードを載せておりますし、ホームページにも載せてございます。</p>
県振興部 児玉様	<p>アクセス数とか把握されてますか。</p>
事務局	<p>そこまでは、把握しておりません。</p>
県振興部 児玉様	<p>把握をしているのであれば、そのアクセス数で、今日どれだけ利用され、どういった効果があったという評価を知る一つにもなり、今後の参考になると思います。</p>
事務局	<p>実数としては掴んでおりませんが、バスが遅れますと、あ</p>

<p>磯部会長</p>	<p>おい交通様とか、市の方へ連絡がございますが、その数はかなり減少しているという認識でございます。</p> <p>では、是非、活用方法を考えてください。 他にございませんか・・・。</p> <p>次に、議題（４）、議題（５）につきましても、アンケートの内容になりますので、議題（４）「北名古屋市公共交通に関するアンケート調査」結果報告書について、議題（５）「北名古屋市公共交通に関するアンケート調査」結果報告書の意見・質問及び結果分析について、一括で事務局から説明をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>（内容説明 別紙１【議題４】、【議題５】のとおり）</p>
<p>磯部会長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>ただ今の事務局の説明ですが、アンケートを行いました。集計を行い、意見などのところも、どういう乗り物を利用しているか、年齢等区分していただきました。最後は、住民はどう考えているのか、アンケートから読み取れるものを纏めていただきました。皆様のご意見をいただきたいと思えます。</p> <p>まずは、このアンケートを行って、分析して、事務局側が、この先何をやろうとしているのか、事務局から先に聞きたいですのでお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>今回のアンケート回答の分析全てが終わっているわけではないのですが、いただいた意見・質問の回答は、添付させていただきました。まず、市の負担、利用者の負担がネック</p>

	<p> になってくると思っております。100円が嬉しい、利用者にもっと負担してもらおう、という意見もありました。この辺を、先ほどあった参考の1～6までの試算をしてきましたが、まだ、どうするか決まっていないところがございますので、皆さまの意見をいただくのと、回答を参考にしながら、また、市の財政もございますので、その辺も考えながらどうしていくか決めていきたいと思っております。 </p> <p> 今、運輸業界では、消費税が上がったらどうでしょう・・・となっています。バス料金、タクシー料金も実は、会社が勝手に決めていなくて、会社のいろんな事情を国にお知らせして、そのくらいの値上げはやむを得ないと国が最終判断して決めています。それに対して、地域公共交通会議の一つの役割として、行政負担を減らすことはやっていいけど、民間のバス会社、タクシー会社の運賃のことも考慮してやってくださいね、ということになっています。タダほどいいことはないですよねといいますが、それでは、民間事業者は撤退します。ちょうどいいバランスを考えて料金設定してくださいね、ということが、この会議の大事なところでもございます。お金の問題は、市の財政にも関わってくる話ですから、お金のいる市もありますし、他市町と比べても仕方ない。財政状況と市の方針もありますので、そのあたりも考えて、議論していかなければなりません。まずは、アンケートの内容を見て、気になったことありますでしょうか。いかがでしょうか。 </p>
磯部会長	<p> 正直、6500万円も掛かっているとは夢にも思ってなかった。まず、料金のことを申し上げますと、名古屋の市バスは200円ですね。利便性とか色んなことを考えると、10 </p>

	<p>0円が妥当ではないかと思えます。もう一つは、バス5台で運行しているとの話ですが、何人くらいの運転手で回しているのか。それと、1200万円というお金ですが、人件費、維持費、租税公課等になると思いますが、自前なのかレンタルなのか。どのような形態で行っているのか。それから、運転手の話ですが、例えば、退職された方で、2種免許を持っている元気な方を積極的に雇うとか、もっと経費削減するための知恵を出し合ってみてはどうかという気持ちがある。この1200万円の内訳が分かりませんが、その中でこのような検討があったかどうか、また、今後そういう検討があるかどうかお伺いしたい。</p>
事務局	<p>まず、このきたバスの運行事業者は、市ではなく、あおい交通様になります。バスは5台、ドライバーは1日で考えますと、昼に交代しますので10人。あおい交通の社長様がいらっしゃるんですが・・・、レンタルでやるってことはあるのでしょうか・・・</p>
松浦委員	<p>有り得ないです。</p>
事務局	<p>平成19年発足当時、あおい交通様に非常に協力していただいていると認識しておりまして、決して高いという認識は持っておりません。</p>
長瀬委員	<p>いや、私民間人としては、なんか高いという気がします。</p>
事務局	<p>バスでいいますと、13人乗りのワゴンがございいますが、かなり古いものを使っております。本来であれば、買い換え</p>

<p>事務局 (60 : 00)</p>	<p>るところですが、エンジンを乗せ換えて継続して使うとか、バスの方も発足当時新古を買いましたが、地球を何周も回ったくらいの車でもかなり引っ張って使っておりますので、バスに関して言いますと、かなり無駄遣いをしていないのではないかと考えております。</p>
<p>磯部会長</p>	<p>OBドライバーの話が出ましたが、どう思われますか。</p>
<p>松浦委員</p>	<p>OBドライバーどころではなく、名鉄様もお見えですが、かなり、乗務員不足でして、誰でも来てくださいという状況でして、実は、OBドライバーよりも健康的な若い人が来てほしいのですが、あまり、人に対して選別する状況ではないのです。また、意外にポンチョは1台2000万円掛かります。この場だから言いますが、1台増やすのに1200万円ですよね。1月100万円です。1台2000万円の車を入れて、月100万円でやるというのは、ものすごく安い金額で、本当に一生懸命な数字です。</p>
<p>吉岡委員</p>	<p>少し、名鉄バスの現状と申しますか、話をしますと、人材不足は永遠の課題だということです。他の事業に関しましても同様の課題であると思います。毎年、150人くらい入るのですが、残るのが10人くらいになり、定着しません。実際に、シニアの方は期間限定で採用していることもありますが、そういう状況の中で、私どもにとっては大変苦しいところでございます。</p>
<p>村瀬委員</p>	<p>高齢者は、交通事故を起こしたら、免許返納しなさいと警察官が勧める。そうすると、外出する高齢者が減り、動けな</p>

くなる。動けなくなるとどうなるかという、高齢者は病気になる。病気になるとどうなるかという、市の医療費が増える。交通の赤字と、医療費の赤字を考えると、高齢者はどんどん外出した方が、負担は減ると思う。昔、国鉄の本数は少なかった。乗る人も少なかった。今、JRになって、本数が非常に増えて乗る人も増えた。現在、きたバスの本数が少ないから乗る人も少ない。バスの運行を増やせば、便利になって、どんどん乗る人も増える。アンケートを見ますと、朝・夕便は多いけども、昼間は少ない。たいてい昼間に利用するのは高齢者ですね。本数が少ないから、行きは乗れるけども、帰りに乗れないから利用しない。だから、本数を増やして、国鉄からJRに変わったのを参考にしてみたら利用者は増えるのではないかと。それから、バスの財政だけを考えずに、医療費のことも考えてみると、もうちょっといいアイデアが出てくるのではないかと思いますのでお願いします。

磯部会長

財政の方で考えることも必要ではないかということ。おっしゃる通りで、他の市町でもその議論は出ます。病気になってからでは遅いので、そうなる前に施策を考えることも必要だと思います。他に何かありますか。

運輸支局
二輪様

先ほど、高齢者の外出の話がでましたので、それに関連して話したいのですが、便数を増やせば、外出されると言われましたが、他の市町の例から見ますと、必ずしも便数を増やしたからといって、それに比例して増えることはないということは事実としてあるわけです。外出するのは、バスに乗るためではなくて、目的があるから外出するのであって、高齢者になると、外出が億劫になって、それで、引きこもりがち

になり、それで病気になる。外出する機会を作ることが重要になってくると思う。そもそも、バスに乗っていけないイベントがある。便数が少ないということもありますが、バスに乗って行ったら間に合わない、帰りのバスがない、ということがあると、バスが利用できない。今日の会議でもそうですが、バスで来ていただくためには、どの時間でやればいいのか、いろんな部署で総合的にバスできてくださいますというような、施策を展開をしていくという利用促進の一環として考えていくことが重要ではないか。

県振興部
児玉様

村瀬委員からありましたが、免許返納された方、バスを今まで乗ったことがない人が、免許返納してすぐバスを利用するかというと、他の市町でもそうですが、バスの乗り方が分からない、だから怖くて乗れないということがあります。利用促進として、バスの乗り方教室であるとか・・・

この地域公共交通会議のメンバーには自治会長や村瀬さんみたいな老人クラブ連合会の会長様もおみえになるので、みなさんで声を掛け合って、じゃあ、ためしにどこどこまで、乗ってみましょう、とか実際に乗ってみる。何よりも皆様に乗ってもらうことが大事なので、市がバスを用意しましたから乗ってくださいではなく、皆さんで「きたバス」を乗って一緒に考えるということが必要だと考えます。

磯部会長

ありがとうございます。今回のアンケートはきたバス利用者だけではなく、いろんな人に意見を聞いて、いろんな乗り物に乗っていますということを把握できた。また、それぞれの乗り物についてのご意見もいただきました。かなりいい材料になっている。これを細かく見ていって、行政として何か

<p>運輸支局 二輪様</p>	<p>をしたいということもあると思いますが、市民として、どういう生活にしていきたいのか。結局、市民の生活のために、民間のタクシー業者、バス業者、鉄道業者を含めて支えていって、その中で足りないものを更に行政が支えていくという、そのような仕組みができるといいのかなあとと思います。</p> <p>話が全然変わりますが、資料4の「アンケート調査」感想・意見資料の1ページの中ほどに記載されている意見のところで、</p> <p>「(以前時間より早くバスが行ってしまうことがあったので) 早く行くことのないようにしてほしい。」</p> <p>これは、サービス以前の話だと思いますので、事実関係の確認と、運用の徹底をお願いしたいと。</p> <p>「バス停とちがうところがバスの乗降場所になっていておかしい」</p> <p>こちらは別の問題が出てくるので、確認いただきたい。こういうことが起こらないように事務レベルの対応が必要になると思います。</p> <p>「車イスで利用する際に運転手さんが腰痛だから持ち上げられない」</p> <p>これは、拒否じゃないですけど、断われたようなことが掛かっていますが、約款の内容に関わってくると思いますが、きたバスの車イスの位置づけどうなっているかということになりますが、車イスの利用が可能です、ということであれば、利用ができるような体制を整えていただく必要がありますし、やれないならやりません、と示してもらわないと、乗車拒否になりかねませんので、サービスと違う問題が発生してしまいますのでよろしくお願いします。</p>
---------------------	---

松浦委員	<p>今の話はこちらの責任になりますので、今後気を付けてやりますのでお願いします。</p> <p>利用促進という話で、例えば、選挙の期日前投票に行く人はタダにするとか、小牧市はお祭りの日は全部タダにするとか、犬山市は中学は夏休み、冬休みに図書館に行くのはタダとか、いろいろやっています。</p>
磯部会長	<p>事業所としては、協力できるということですね。ちょっと手間がかかるかもしれませんが。</p>
事務局	<p>今の話で、北名古屋市としては、敬老会の時にきたバスをご利用になれる方は、ご案内状を提示していただくことによって無料にしております。</p>
県振興部 児玉様	<p>敬老会のバスの無料については、他の市町でもやっていて、すごくいい取り組みだと思いますが、一点、気を付けていただきたいことがあって、行きはバスがあるけど、帰りが無いのでは困るので、気を付けていただきたいと思います。</p>
加藤委員	<p>現状の市バスの問題を教えていただきありがとうございます。近い将来、自動運転化になりますよね。東京オリンピックには、かなり進んで実施されると思いますが、将来的には市も自動運転化のバスになるだろうと私は思いますが、今の現状でバスの結論を出さなければいけないのも分かるのですが、自動化のために費用を上げるというのが、得策なのか、今は温存して、自動運転化の時に備えるのか、一体いつごろになるか、3年先か、5年先か、予算がどのくらい必要なのか……。時代が来ているので、そろそろ乗せていかな</p>

<p>磯部会長</p>	<p>いといけないと思う。</p> <p>現状では全く見えないです。人件費は減ります。無人とい いながら、誰かがコントロールしています。その人件費やコ ストがかかります。システム全体のコストが、1000万円 単位ではなくて、その10倍はかかると思います。最初は。 となると、今はコスト的に出来ません。正直な話。将来的 にはみんな期待はしています。ただ、お金の関係は、今は誰 にも分かりません。安くできたらいいなあとみんな思ってい る程度です。</p>
<p>運輸支局 二輪様</p>	<p>自動運転化の話は、まだ、法整備もできていません。技術 的には可能にはなってくると思います。トヨタとかいろいろ 実験もやっていますが、現状で将来の自動運転化を目指して こういう方法をやって行きましょうというのは、時期尚早な のかなというのがわたしの正直な感想です。先々の計画とな りますと、地域公共交通会議網形成計画というものが、国土 交通省にありまして、地域、主に自治体とか若しくは自治体 広域な地域、または県、などの公共交通を将来的にどうして いきましょうか・・・、というだいたい5年先くらいの計画 を立てて、年度を区切って色々なことを行って、評価して、 また、次の年度に行なって、最終的に目標に向かって色々や っていきましょうという取り組みがあるのですが、将来に向 けて計画的にやっていきましょうという取り組みなんかも やっていく必要があるのではないかと思います。</p>
<p>磯部会長</p>	<p>という状況です。みんなやりたがっているのですが、なか なか先が見えないんです。よろしいでしょうか。では、次の</p>

事務局	<p>3のその他に移りたいと思います。</p> <p>「北名古屋市内における医療機関を巡回するバスについて」、事務局から説明をお願いします。</p> <p>(内容説明 別紙1 【その他】(1)のとおり)</p>
磯部会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>ただ今の事務局の説明について、ご質問等がありましたらご発言をお願いいたします。</p>
運輸支局 二輪様	<p>すいません、これは、市が行うのですか。</p>
事務局	<p>これは、市ではなくて、医師会になります。</p>
二輪様	<p>料金は無料ですか。</p>
事務局	<p>無料です。ここに載っている医療機関の診察券を見せれば乗車できます。バス停はなくて、この病院の駐車場が、停留所になっているとのことです。</p>
二輪様	<p>事前に運輸省、または運輸局に相談はされていますか。</p>
事務局	<p>その辺まで、詳しくは聞いていません。ただ、まだやっていなくて、来年度からやると聞いています。</p>
二輪様	<p>無料なら何でもいいかという、そういうわけではなくて、どういう風にやられるのか、できれば一度、ご相談いただき、確認をしていただいた方がいいと思います。万が一、</p>

	<p>法に触れるようなことがあれば、直していただいた方がいいと思います。青ナンバーでやる分には問題はないのですが、白ナンバーでやることは、場合によっては、法的な問題があるかと。</p>
事務局	<p>わかりました。この会議が終わりましたら、担当課に連絡し、確認したいと思います。ありがとうございます</p>
磯部会長	<p>まあ、細かいことを調べていただいて、法的な問題があると思いますし、また、今日の議論にありましたが、昼間の便と被ってくると、影響が出てきますので、その辺も考えていけないといけませんね。</p> <p>他にご質問等はありませんか。では、次の「地域公共交通会議委員の委嘱について」、ご説明をお願いします。</p>
事務局	<p>(内容説明 別紙1 【その他】(2) のとおり)</p>
磯部会長	<p>ありがとうございます。よろしいでしょうか。</p>
運輸支局 二輪様	<p>ちょっとすいません。最後にですね、一言申し上げたいのですが、実は今日、同じ時間で、名古屋交通圏タクシー活性化協議会をやっておりまして、名古屋圏のタクシーさんが、地域の公共交通のために何ができるかということ、営業区域の自治体の方に集まってもらってタクシー事業所の方とともに勉強していく会なのです。バス事業者だけではなかなか対応できないこともあると思います。今後、タクシー事業者ともコミュニケーションを取ってもらって、地域でどういう公共交通ができるのか、若しくは、タクシー事業者が持つ</p>

	<p>ている知見をどのように活用するかということも含めて、タクシーを公共交通として、考えていただいて、検討していただきたいと思います。</p>
磯部会長	<p>他に意見はよろしいでしょうか。</p>
<p>県振興部 児玉様</p>	<p>明日から、国の補助を受けている、第三者評価委員会というのが始まります。愛知県では、2月22日（金）午前10時から16時まで、一日かけて、県内の各自治体を中心として、どんな取り組みをされているか、その評価が適切か、もっとやれることはないか、学識経験者からご指摘いただきながら、評価いただく場があります。入場自由ですので、今後の参考までに、ご出席をいただければと思います。</p>
磯部会長	<p>はい。ありがとうございます。他にございませんでしょうか。それでは、以上をもちまして本日の会議を終了いたします。ありがとうございます。</p>
事務局	<p>最後に一つ、委員の皆様の内、官公庁以外の皆様につきましては、事前に伺っております口座、又は、本日お届けいただきました口座に委員報酬、費用弁償を3月15日までにお振込させていただきますので、ご承知おきいただきたいと存じます。</p>
(96 : 00)	<p>以上でございます。ありがとうございました。</p>